

〔2〕九州産業大学造形短期大学部建学の理念、教育目標

（建学の理念）

九州産業大学造形短期大学部は1968年創立、古代から新文化導入の窓口となった福岡市に立地し、明治以降、多くの芸術家を輩出した九州の造形の伝統を受け継いで、その後継者を育成すると共に、今日の日進月歩の産業社会に有用な人材を送り出そうというのが建学の理念である。

開学以来“産学一如”の理想を掲げている。その“産”は単に産業を意味するに止まらず、進歩する産業が支えて多様に躍動する現代社会全体と考え、それに寄与する創造意欲に富んだ人づくりが本学の使命と考えている。

（教育目標）

教育目標は、学則第1条「九州産業大学造形短期大学部は、教育基本法に則り、学校教育法の定めるところに従って、本学が有する造形芸術の領域に関する諸研究を基礎として芸術的創造力を培うとともに、あわせて芸術応用部門の研究及び教授を行い、もって誠実で而も創造性に富んだ有能な技能人を養成することを目的とする。」と定めている。

教育目標は、次のような教育方針を持っている。

第一に個性を伸ばす教育。実践的な造形技術を身につけさせるが、個性の基は手にあると考え、手づくり精神を尊重し、温かい心の創造者を育みたい。

第二は自由闊達な精神育成。自由闊達は創造の源であり、エネルギーである。この精神は授業以外の学友会活動から、学外社会のイベント、ボランティア活動等への積極参加にもつながる。

第三は教養教育の重視。技術に偏重せず、幅広い教養知識を吸収させ、心豊かな人間性を養う。

第四は少人数教育。学生と教職員の距離を縮め、生活面までに行き届いた、短期大学部ならではの人間教育を実施する。